



3 地区合同 避難所訓練

城東、城北、安原地区の避難所訓練が3月18日、旭町小学校で初めて行われました。予想を大幅に超える300人余りの地域住民が参加しました。

午前8時30分に震度7の地震が発生、市内全域で家屋倒壊、ライフライン寸断との災害想定で行われました。市災害対策本部より避難所開設指示が出され、防災行政無線に

よる発災放送が流れます。その後、町会ごとに避難して行く住民を受け入れ、運営にあたっての重要項目の確認をしました。

避難者の名簿づくりから始まり、ボランティアの受付、掲示板による広報活動、配食などを実際に行いました。

防災講座では、身近にある竿や毛布などを使って救出、搬送する方法を体験しま

した。避難所で起こりうる問題や、心構えについて学んだり、簡単なトイレの作り方を教わったりしました。

訓練の指導をした安原地区防災部連合会長の日野和俊さんは「地域住民の防災意識の高さを感じた。今日の経験と反省を今後にかかしていきたい」と話していました。



消防職員による搬送訓練を見守る地元の人たち

ミレーの絵画を堪能

安原地区公民館運営委員会と町内公民館館長会主催の合同視察研修として、3月16日に山梨県立美術館を26人が訪れました。

同美術館は今年開館40周年を迎えました。建設の構想中、オークションでミレーの2作品が出品され、農民を描いた絵画は農業県の山梨県にふさわしいとして落札されたことで知られています。ミレーの仲間であるバルビゾン派の作品とともに収蔵・展示されています。これらの作品は親しみやすく、見る人の心を穏やかにしてくれそうです。



大久保さんの解説に熱心に耳を傾けた研修

保久雄さんによる作品の背景や人物のモデルなどの解説を聞き、理解を深めました。

40周年春の企画展では、横山大観など有名作家や、山梨県ゆかりの画家の掛軸、襖絵、屏風から現代絵画まで、幅広い作品の数々を鑑賞。心豊かな時間を過ごすことができた研修でした。

安原地区公民館

信大キャンパス探検隊⑤

信州大学中央図書館

信大中央図書館は松本キャンパスのほぼ中央にあります。約53万冊の蔵書を誇り、大学の教育研究を支えるとともに、地域に開かれた施設として活用されています。

創立70周年と、前身である



開かれた施設として活用される図書館

旧制松本高校の開学100周年を来年に控えた記念として、教授陣が研究内容などを

市民や学生に分かりやすく語る企画「昼どきセミナー」が開催されています。

初回は大学史資料センターの福島正樹特任教授が「信州大学誕生」をテーマに語りました。「なぜ「信州」か」を副題に、同教授は他の国立大学が多くが都道府県名を用いているが、信大だけは「信州」と名乗って今日に至っている経過を説明。文献類を紹介しながら「校名でもめた形跡が

ない。長野県が背負ってきた歴史そのものが大学名になった」と考察。「そこには先人の営みが詰まっている」と述べました。

同図書館は3年前にリニューアルオープン。1階の自由学習スペースが拡充されました。おびただしい蔵書群のほか、国内有数の山岳関係資料を集めた「小谷コレクション」や、彫刻家、挿絵画家でもあり、地元とのゆかり

が深い芸術家、石井鶴三に関する「石井鶴三コレクション」などもあります。

松本市図書館など自治体図書館とも連携。電子ジャーナルなど時代に即した機能の充実を図っています。中央図書館サービスクループの図書館、石坂憲司さんは「時代のニーズに対応しながら開かれた施設として、気軽に利用していただきたい」と話しています。

熟能が心待ち お味噌づくり

地区公民館初めてのお味噌づくり講座が、丸正醸造の指導により2月28日に開催され、15人が参加しました。

ポリ袋に2kg分の材料のゆでてつぶした大豆、麴、塩、水、種味噌を入れて輪ゴムで閉じ、よく混ぜてから体重をかけて手のひらで押ししてもんでいきます。耳たぶ程度の硬さになったところで空気を抜いて袋を閉じ直して作業完了です。自宅に持ち帰って冷暗



愛情込めて味噌づくりに取り組む参加者たち

所で半年間熟成させます。同じ材料でもどれ一つ同じ味はなく、自分のが一番おいしい「手前味噌」ができあがるそうです。

初めまして



旭町中学校教頭に着任した石原 秀樹さん

旭町中学校教頭の石原秀樹先生は、中高一貫校の長野県屋代高校附属中学校から4月に着任しました。

生徒数332人の旭町中学校の生徒は、規律正しい学校生活を送っていると胸を張っているといえます。

生徒たちには「一生懸命に過ごせる時間が送れるような人」「いろいろな人と協同し、協力してできる人」「松本や地域を背負っていける人」に育ってほしいと語ります。

教頭職として、生徒たちや先生たちがやりたいことをできる学校になるようサポートしていきたいと目を輝かせていました。

現在単身赴任中。上田市真田町の自宅に、妻と二人の子どもと暮らしています。休日に家族とスポーツをしたり温泉に行ったりするのを楽しみにしています。

平成30年度安原地区 公民館委員紹介

運営委員

- 小山 俊樹 (東ノ丁)
- 中野 孝之 (萩町)
- 中田 金一 (袋町)
- 辻 眞美子 (萩町)
- 伊藤 芳郎 (元原町)
- 澤柳 清一 (天白町)
- 築野 雅則 (旭町)
- 草深 邦子 (新町)
- 中原 佳代 (中原町)

文化委員

- 澤柳 清一 (天白町)
- 金井 俊二 (両下町)
- 小松 清人 (中原町)
- 伊藤 芳郎 (元原町)
- 榮 幸子 (中原町)
- 河西 眞次 (中ノ丁)
- 小澤 颯 (安原町)
- 望月たか子 (中ノ丁)

館報編集委員

- 伊藤 芳郎 (元原町)
- 辻 眞美子 (萩町)
- 鳥羽 啓路 (東ノ丁)
- 山本 綾子 (中原町)
- 村山 昌夫 (新町)
- 清水 淳美 (中原町)

※全市版担当

- 大和 靖 (新町)

図書委員

- 辻 眞美子 (萩町)
- 石田 千鶴 (中原町)
- 西澤真利子 (安原町)
- 中島真由美 (天白町)

赤羽 真爾 (旭町)

体育委員

- 築野 雅則 (旭町)
- 丸山 善広 (安原町)
- 小澤 颯 (安原町)
- 中村 道子 (東ノ丁)
- 三浦 弘子 (両下町)

民生・児童委員紹介

- 草深 邦子 (新町)
- 高橋 芳子 (元原町)
- 廣瀬 知子 (東ノ丁)
- 降矢 美枝 (元原町)
- 吉川 明子 (元原町)
- 浅川公美子 (中原町)
- 小林 伸子 (中原町)
- 小林 昌子 (中原町)
- 丸山美佐子 (安原町)
- 太田眞由美 (旭町)
- 百瀬 好子 (両下町)
- 飯沼 友子 (萩町)

○委員長 ○副委員長

町内公民館長紹介

- 小山 俊樹 (東ノ丁)
- 伊藤 芳郎 (元原町)
- 辻本 和久 (新町)
- 吉澤 孝 (袋町)
- 保科 守宏 (安原町)
- 堀江 睦 (天白町)
- 湯本 智章 (中ノ町)
- 西澤 道繁 (両下町)
- 辻 眞美子 (萩町)
- 吉川 進 (旭町)
- 中原 國友 (中原町)

◎会長 ◎副会長(カッコ内は地元町会)

いちよう並木

「安原地区公民館に 絶滅危惧種のチヨウジソウ」

キョウチクトウ科の多年草で、昔は全国各地に分布していましたが、現在は絶滅危惧種とされる丁字草(チヨウジソウ)がわが安原地区公民館の花壇で育っています。

花は星形の淡い青色、気品あふれる高貴な花です。湿地を好むため、河川の護岸工事で生育地が荒らされ激減が危惧される植物です。

さし芽で簡単に増やすことが可能です。乾燥に弱いので、水持ちのよい水ゴケ、ピートモス、鹿沼土を混ぜた用土に植え付けます。

春から秋までいつでもさし芽ができます。苗を増やして絶滅危惧種のレットルをはがしたいですね。



公民館で育つチヨウジソウ